

公益財団法人大阪難病研究財団
研究成果報告書 執筆要領及び記載例
(医学研究助成 / 国際交流助成)

様式

- 1) Word 形式で A4 サイズを使用してください。
- 2) 本文は財団の指定するフォーマットに従い作成し、4～6 枚とします。
 - ・原則和文とします。
 - ・フォント 日本語（全角）：MS 明朝 / 英数字（半角）：Times New Roman
助成番号…9 ポイント
表題（研究課題名）…12 ポイント
氏名、本文等…10.5 ポイント
 - ・段落 助成番号…左揃え
表題（研究課題名）…中央揃え
所属、氏名…右揃え
見出し等…左揃え
本文…両端揃え
 - ・図表 図表を挿入する場合も上記枚数に含みます。図と表は合わせて計 5 点以内とし、カラーも可とします。
図表には本文中で引用される順番に通し番号（例：図 1、表 1）を付し、図の下および表の上に図表番号とタイトルを表記してください。必ず全ての図表を本文中で引用してください。
図は原稿に挿入してください（報告書は PDF としてホームページで公開する予定であるため、**鮮明な図**を使用してください）。表は Word の表機能を用いて作成してください。転載許諾を要する図表を用いる場合は、必ず事前に許諾を得たうえで使用してください。
 - ・ページ フォーマットに指定された文字数（40 文字）、行数（35 行）、余白（上 35 mm，下 30 mm，左右 30 mm）の設定を用いてください。
 - ・表記規則 「である」調を用いてご記載ください。句読点は「、」と「。」を用い、括弧は全角を使用してください。
原稿内で略語を用いる場合は、初出時に略語の定義をしてください。
特殊文字（ギリシャ文字、数学記号等）は Word の「記号と特殊文字」（フォント：Times New Roman）を用いて挿入してください。機種依存文字は使用しないでください。
 - ・表題 表題は申請時の研究課題名を記載してください。やむを得ず変更する場合は、事務局へ申し出た後、別途「研究課題変更申請書」を提出してください。

3) 報告書の構成

1. 諸言 2. 方法 3. 結果 4. 考察 5. 結語 6. 文献 7. 成果発表の項目に分けること

・各項目を細分化する場合は中項目（例：1.1）、小項目（例：1.1.1）を使用してください。

4) 引用文献の記載

文献は本文で引用した順に上付き数字（例：¹⁾）で番号を付し、「6. 文献」に一括して記載してください。著者名は6名までは全員を表記し、7名以降は省略して **et al.**（和文論文の場合は「ほか」と記載してください。雑誌名の略称は医学中央雑誌収載誌目録および **Index Medicus** に従ってください。

・雑誌の場合

著者名. 論文名. 掲載誌名. 出版（刊）年; 巻数(号数): 開始ページ-終了ページ.

例：1) 佐藤太郎, 田中一郎, 山本祥子, 太田隆, 高木豊, 鈴木譲ほか. 重症気管支喘息患者に対するバイオマーカーを用いた長期管理. 東呼吸誌. 2019; 23(1): 37-46.

2) Johnson JD, Moore JC, Davis MW, Scott HJ, Barnes AC, Smith FJ et al. Gene expression profile in patients with asthma. *Gen Respir J.* 2002; 163(2): 221-235.

・図書の場合

著者名. 書名. 版表示. 出版地: 出版社; 出版年. p.開始ページ-終了ページ.

例：1) 田中一郎, 吉田次郎. 間質性肺疾患の診断と治療. 第2版. 東京: 医科出版; 2018. p.151-170.

2) Anderson JG, White AJ. *Diagnosis and treatment of idiopathic diffuse interstitial pneumonia.* 3rd edition. Boston: Med Press; 1983. p.960-983.

5) 成果発表の記載

「7. 成果発表」には、本研究によって得られた研究成果を図書、雑誌論文、学会発表、その他に分けて記載してください。図書、雑誌論文の記載方法は「4) 引用文献の記載」と同じとします。

・学会発表の場合

発表者名. 演題名. 学会名. 開催場所. 発表年.

例：太田一郎, 吉田次郎, 鈴木譲. 重症気管支喘息患者に対する長期管理の検討. 第23回西日本呼吸器学会. 大阪. 2020.

Ota I, Takaki Y, Yamamoto S. Comparative effectiveness of ICS/LAMA with ICS/LABA in patients with asthma-COPD overlap. 22th Asian Respiratory Congress. Kuala Lumpur. 2019.

※本助成金による研究成果を発表するときは「公益財団法人大阪難病研究財団」（英文は **The Osaka Medical Research Foundation for Intractable Diseases**）の助成による旨を書き添えてください。

校 正

- ・執筆者の校正は原則として初校のみとし、2校以降は事務局へ一任となります。
- ・校正は Word で行います。同意書記載の E-mail にデータを添付して送信しますので、変更履歴の記録を ON にした状態で修正・追記をお願いいたします。
- ・校正依頼メールの受信後は、1週間以内に事務局担当宛てに必ずご返送ください。

6.文献

- 1) 著者名. 論文名. 掲載誌名. 出版(刊)年; 巻数(号数): 開始ページ-終了ページ.
- 2) 著者名. 書名. 版表示. 出版地: 出版社; 出版年. p.開始ページ-終了ページ.

コメントの追加 [Z20]: 雑誌の場合

コメントの追加 [Z21]: 図書の場合

7.成果発表

図書

- ・ 著者名. 書名. 版表示. 出版地: 出版社; 出版年. p.開始ページ-終了ページ.

雑誌論文

- ・ 著者名. 論文名. 掲載誌名. 出版(刊)年; 巻数(号数): 開始ページ-終了ページ.

学会発表

- ・ 発表者名. 演題名. 学会名. 開催場所. 発表年.

その他

・